

「ZORING」で学ぶ^{もり}森林づくり in 東朋中学校

7月4日に大船渡市赤崎の東朋中学校にて、森林教室を行いました。

前半の部は「森の機能とSDGs」や「森の生きものたち」などの授業、後半の部ではカードゲーム「ZORING」を実際に体験してもらいました。

前半の部は、「林業を学ぼう」「森の機能とSDGs」「森の生きものたち」の3部で授業です。

「林業を学ぼう」では、生徒たちは真面目に林業の話聞き、「森の機能とSDGs」では、サンプルを使うなどして飽きの来ないように工夫しました。木目の方向による強度の違いについて実際に木を割って体験してもらったのですが、生徒たちは、その木割りをするため、数の少ない木片を奪い合うくらい好評でした。



スマート林業の説明でドローンを披露すると、「かっこいい」といった声や、見入ってドローンに気をとられ話を聞かない生徒もいたくらいでした。



「森の生きものたち」では、シカやクマなどを動画で観察し、クマやサルの動画が流れたときは、「おお、クマだ〜」といった反応や笑い声など歓喜に溢れていました。

後半の部ではカードゲームの「ZORING」を用いて、森林づくりについて遊びながら学びました。

ルール説明は熱心に聞き入り、今か今かと待ちわびている雰囲気でした。

1回戦目は各自ルールを確認しながらなので友達の山づくりを妨害する余裕はなく、自身の山づくりに専念し、ゲームはあっという間に進行しました。

しかし、2回戦目になると、職員の補助がなくてもゲームは加速し、自身で戦略を考え、逆に職員が置いていかれるほど白熱した戦いが繰り広げられました。



「ZORING」を東朋中学校の生徒たちに実際に体験していただき、「とても楽しかった！」や「またプレイしたい」などの、たくさんの声をいただき、また実際に楽しんでいる姿を見て私たち職員もとても嬉しく感じました。

この森林環境教育の教材として開発されたカードゲーム「ZORING」は、子供たち含め、大人の方も楽しく森林づくりについて、学べる教材となっているので、ぜひみなさんも体験してみてください。

三陸中部森林管理署 鰐田 侑誠

